

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	家畜衛生対策事業			事業コード	0610
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	加藤 宏之	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 4目 家畜衛生対策事業(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和36年度~)		
事務事業の概要	家畜伝染病予防法に基づく家畜の検査や予防注射等の事務の処理を行うとともに、放牧衛生及び家畜自衛防疫の推進を図るもの。					
根拠法令等	家畜伝染病予防法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
家畜伝染病関係の法律は大正11年に施行されているので、この事業も古くから行われていたと思われる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫等の影響で市民等の関心は高くなっている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
伝染病を含む疾病の予防と衛生管理の推進は畜産振興に必要不可欠である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡地域の家畜飼養農家	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 家畜飼養農家数	単位	戸
				B. 家畜飼養頭数	単位	頭
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 岩手県中央家畜保健衛生所と連携して、家畜伝染病の予防のため各種検査や予防注射等を実施した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 岩手県中央家畜保健衛生所と連携して、家畜伝染病の予防のため各種検査や予防注射等を実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 検査頭数	単位	頭
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	疾病予防と衛生管理を推進し、もって畜産経営の安定に寄与する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 発症頭数	単位	頭
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				B.	単位	
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C.	単位	
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	家畜飼養農家数	戸	171	177	180	175	180	180	年度
対象 指標B	家畜飼養頭数	頭	2418	2926	3000	3126	3000	3000	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	検査頭数	頭	908	562	550	433	550	550	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	発症頭数	頭	0	0	0	0	0	0	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	545	565	632	632	632	632	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円	92	56	55	45	123	123	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	453	509	577	587	509	509	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	545	565	632	632	632	632	*****
	延べ業務時間数	時間	300	250	250	250	250	250	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,200	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,745	1,565	1,632	1,632	1,632	1,632	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 伝染病を含む疾病の予防と衛生管理の推進は畜産振興に必要不可欠である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 伝染病の影響は産業全体を壊滅状態に追い込む危険性があるため。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 家畜飼養農家で妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 伝染病を含む疾病全般で妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 病気の蔓延等がない。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 病気の蔓延等が生じる可能性がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 関係機関・団体が協力して、最低限の経費で事業を行っている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最低限の人員で事務を行っている。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: すべての家畜飼養農家が対象である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 検査手数料は県の条例で定められている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革
改善
方向

- ①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)
※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
- ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？
(関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)

5. 課長意見

一次
評価

(1)一次評価者としての評価結果

- | | | |
|-------|------|-----------|
| ① 必要性 | ● 妥当 | ○ 見直し余地あり |
| ② 有効性 | ● 妥当 | ○ 見直し余地あり |
| ③ 効率性 | ● 妥当 | ○ 見直し余地あり |
| ④ 公平性 | ● 妥当 | ○ 見直し余地あり |



(2)全体総括(振り返り, 反省点)

今後
の方向
性と
改革
改善
案

(3)今後の事務の方向性(改革改善案)

- | | | |
|-----------------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> 終了 | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
<input type="checkbox"/> 改革改善を行う
<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 |
| <input type="checkbox"/> 廃止 | <input type="checkbox"/> 休止 | |



方向付けの理由と改革改善の内容

家畜伝染病は、昨年度国内で発生した口蹄疫や鳥インフルエンザなど社会的にも農家経営においても非常に大きな影響が懸念され、その予防・防疫は必要不可欠であることから、関係機関・団体と連携して、事業を継続していく。